

令和 7 年度 内丸緑地管理業務計画書

第 1 管理方針

管理の基本方針として

- (1) 利用者に満足していただける管理
(ゴミが落ちていないクリーンな公園等)
- (2) 組織の能力を発揮した管理
(盛岡城跡公園と一体として利用できる公園等)
- (3) 地域との連携を図った管理
(地域ボランティアとの連携、地域のイベント開催支援等)
- (4) 組織内および関係者と情報共有・コミュニケーションを図った管理
(毎月の企画会議の開催による情報共有等)

第 2 管理計画

(1) 管理の目標値

- ア 緑地内にプランターの設置 (33 基)
- イ 公園内の清掃をほぼ毎日実施
- ウ イベント開催への支援

(2) 目標値の達成方法

- ア 特定非営利活動法人緑の相談室の活動に賛同をいただいている「園芸クラブみどり」のボランティアの協力を得てプランターを設置、維持管理する。
また、広報等を活用し「園芸クラブみどり」の会員募集・確保にも努めていく。
- イ 清掃は事務局が担当して行う。また、市就労準備支援プログラム、保護観察所のボランティアの方々の協力も得て、清掃・除雪活動等を行う。
なお、市就労準備支援プログラムの方々は毎週月・水の午前中に活動予定である。
- ウ 内丸緑地における各種イベントに緑の相談室が側面から支援する。

(3) 今年度重点的に取り組む事項

- ア 巡視・施設の点検を継続的に行い、利用者の安全・安心に繋げる。
(施設の破損等)
- イ 施設が老朽化し補修の必要な個所等について、県と協議していく。
(県庁側緑地裏亀が池傍の石積の崩落等)
- ウ プランターを設置して緑地の雰囲気をもくし、利用者に癒しの空間を提供する。(花の盗掘が発生しないよう、小標板を設置するなどの方法を講じ、注視していくとともに、花愛護の普及・啓発に努める。)
- エ 令和元年7月1日(月)から緑地内は「全面禁煙」となり、入り口6か所に全面禁煙の立て看板を設置した。禁煙前と禁煙後を比較するに、禁煙後の方が「タバコのポイ捨て」は減少しているものの、ゼロとはなっていないことから、今後とも注視していくこととする。
- オ イベントについて、地域の方々から相談を受けた場合には開催を支援するとともに、今後の内丸緑地を活用したイベント開催について働きかけを検討していく。
- カ 盛岡城跡公園と一体となった、維持管理を行う。
- キ 災害発生、事故の発生等については、県へ連絡・協議するとともに情報を共有し対応していくこととする。
- ク 「内丸緑地の管理運営状況報告(清掃・点検等実施状況)」を毎月県へ提出する。